

# 宮浦中学校区防災学習フィールドワーク(1年生)

## 新潟市立宮浦中学校

◎学習で得た防災の知識や防災への考え方を活用し、宮浦中学校区内の防災に役立つ場所や施設、危険や問題となる場所、状況に気付こう。

◎宮浦中学校区内の「防災安全MAP」を作成することで、学区やその周辺にある防災上重要な場所や施設、その位置を知り、万が一の災害時に備えよう。

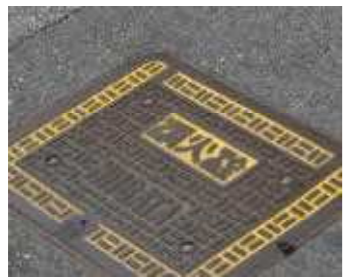
### ◆宮浦中学校区を8エリアに分けての調査活動

#### 【調査活動のポイント】

- ①「防災に役に立つ場所、避難場所」
- ②「防災に関する標識（避難場所表示、海拔表示、消火栓）」
- ③「危険な場所、問題と考える場所」の3つを視点に調査活動を行いました。



避難場所の公園には、防災倉庫が設置してありました。宮浦中学校も避難場所にあっており、防災用の備蓄品（食べ物、水、簡易コンロ、簡易トイレなど）が倉庫にありました。



宮浦中学校区の海拔はほぼ1mで、とても低いことがわかりました。津波災害を想定しなければなりません。



スクールカバンを背負い、青ファイルを片手に調査活動を行いました。男女が互いに協力する微笑ましい光景がたくさん見られました。



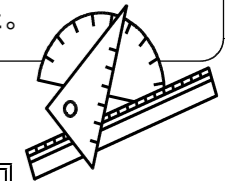
地域を歩いてみると新たな発見がたくさんありました。避難するための道路が狭いことや、道沿いのブロック塀が地震でくずれの可能性があります、危険であることがわかりました。

調査活動では、自治会長さんやボランティアの方がいっしょに歩き、調査活動に協力してくれました。また、いろいろな話をお聞きすることができ、参考になりました。

### 【生徒が作成した宮浦中学校区防災安全MAP】



防災学習のまとめとして、「防災安全MAP」を作成しました。地図上には、防災に役立つ建物や場所、防災に関わる標識や看板、危険箇所など、撮影してきた写真を用いて表現しました。



### 地域の人たちとの関わり

★調査活動では、自治会長さんや防災に詳しい地域のボランティアの方から協力していただき、調査活動に同行してもらい、町内の防災対応や危険箇所の説明をしていただきました。



「地域の方々の協力で防災学習ができました！」

### 生徒の声

◆今回のフィールドワークで私たちが調査活動したエリアでは、思っていたより消火栓が多く、火事が起きた時には、すぐに対応できそうだと感じました。また、危険な所が少なく、近くに避難場所（小学校）もあり、安心できました。

この学習で学んだことを、これからの防災に活かしていきたいと思いました。（女子）

◆古い住宅のほとんどが空き家で、地震などで崩壊する危険があるように感じます。崩れてしまいそうな空き家など、災害時に危険になるものをどのようにするか、とても重要であると思いました。

駅周辺には、消火栓や看板標識が多く、避難する際にはとても役に立ち、安心できると感じました。（女子）

◆全体的に道路が狭く、建物が密集していると感じました。災害の時、避難するときは大丈夫だろうか、少し心配になりました。

自治会長さんのお話で地盤が弱いということを教えていただき、目に見えるものだけでなく、地盤など目に見えないものにも注目することが大切だと思いました。（男子）

